

通信障害分析チャート 2024.11

赤文字→黒字→グレー字の順番に行う。

①準備

- ネットワーク構成図を用意しておく
- すべてのMacとモダリティの電源を入れる。※例外はない

②最初に確認

- どの機械とどのMacの通信か?
それは 初 いつも レアな 組合せ
- 掃除のおばちゃんが入った後だ
- 停電があった
- 電話工事などの業者が入った
 ガセキュリティ入れてないか
- OSをアップデートしたか
- 壁紙がいつもと違う

③

- 装置とすべてのMacの電源を入れる
※自動再送信する機種とそうでない機種がある
- 再送信してみる
エラーは出でていないか。出でいたら画面を撮影
- 送信条件が変わっていないか
 装置交換 圧縮 パレット(US)

- 抜けていないか
 壁の刺さりが緩んでいないか
- 電源が入っているか
 ケーブルが抜けていないか
- ハブ自体が劣化していないか
 クロス=ストレートスイッチ確認(フジ)
 ループは起きていないか

- 抜けていないか
 壁の刺さりが緩んでいないか

- インターネット YouTube / Amazon開くか
- アドレス(IPアドレス)は正しいか
- テスト通信(ping)
- ハードウェアアドレス(MACアドレス)は正しいか
- ネームサーバが間違っていないか(着信に5分かかる)

- ツールのセキュリティ(sh)は解除されているか ※OSアップデートしたばかり?
- ネットワークログ
- テスト通信(C-echo)
- ポート番号は正しいか
- 複数のOsiriX/リストナーを起動していないか
- 代替リストナーを使用しているか

- 容量はあるか
- 画像データは破損していないか
- すでに登録されている画像でないか

- 容量はあるか
- ディスクのアイコンが消えていたりしないか
- 画像データは破損していないか
 圧縮 再転送 非対応DICOM
- すでに登録されている画像でないか

- 保存場所が変更されていないか (自動で起きる)
- 表示を絞り込んでいないか
- データベースが破損していないか (件数)
- 患者IDが間違っていないか (登録日順で確認)
- メディア(USBメモリ、CD)で読ませたらどうか
- 手動Q/R

④今後の備え

- べからず集・障害時対応手順を作っておく
- 障害時カルテ用紙を作成しておく→ 後で入力・スキャン
- ネットワーク構成図を更新しておく
- 容量追加

発生日時

発生地・実施者